

## 「2020 統合報告書」発行にあたって

当社が発行する統合報告書は、今年で5冊目になります。財務情報と非財務情報を統合し、ステークホルダーの皆さまに企業の価値創造を伝える重要性は年々高まっており、毎年、開示内容の改善を重ねて発行しています。

今年の報告書では、「価値を創造し続ける企業グループへ」という私たちのありたい姿を、よりわかりやすいストーリーで具体的に伝えることに努めました。

今年のテーマは、「ライフスタイル創造3.0」です。グループの3つの強みと事業ウイングの広さを活かした当社の価値創造ストーリーを深くご理解いただくために、新しい住まい方、働き方、過ごし方の提案が未来のライフスタイル創造へとつながるプロジェクトを特集するなど、内容の充実を図りました。

また、投資家の皆さまからのリクエストを反映して、事業を通じた提供価値(アウトプット)と社会的価値(アウトカム)を整理し、私たちの事業が社会に与える影響(インパクト)をご理解いただけるよう編集を新たに加えました。

さらに、社外取締役には、オンラインを通じた座談会で意見を交わしていただき、コロナ禍におけるコミュニケーションのあり方も含めて、忌憚のないご意見を頂戴しています。

コロナ危機に直面し、事業環境は激変しましたが、サステナブルな社会と成長をめざす当社グループの姿勢は揺らぐことはありません。社会インフラの一翼を担う使命と今後のさらなる成長を、しっかりとお伝えしてまいります。また、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進は喫緊の課題であり、担当役員として、スピード感をもってグループ内のビジネスモデルの変革を実施していく所存です。

なお、今年より報告書の印刷を取りやめ、ステークホルダーの皆さまへWEB上で開示することとしました。デジタル化の推進と地球環境への配慮からの判断です。

事業活動を通じて社会課題の解決に取り組む当社は、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に参加し、人権・労働・環境・腐敗防止に関する10の原則を支持しています。また、持続可能な社会の構築に向けて、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献することにもコミットしています。

今後も、ステークホルダーの皆さまとの対話を大切に、さまざまなコミュニケーション機会を創出してまいります。

2020年10月

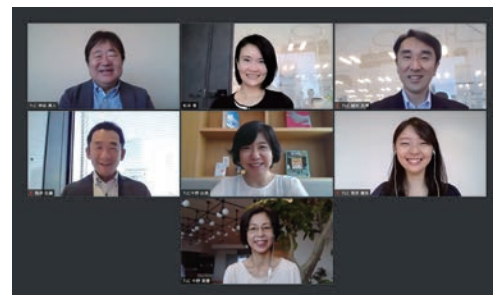


木村 昌平

東急不動産ホールディングス株式会社  
取締役 執行役員  
一般管理管掌・DX推進室担当  
「2020 統合報告書」発行責任者

本報告書では、木村取締役の指揮の下、コーポレートコミュニケーション部を中心に、グループ経営企画部、グループ総務部が事務局となり、各事業会社と密に連携をとりながら、グループ横断的な考え方を集約しています。事務局による編集会議は計16回開催(4月からはオンライン会議に移行)、それ以外にテーマ別分科会や取材を随時実施し、本報告書を作成しました。本報告書が当社グループをご理解いただくためのコミュニケーションツールとして、ステークホルダーの皆さまのお役に立つことを願っております。

事務局および協力部署：コーポレートコミュニケーション部 IR室/同部 サステナビリティ推進室/同部 広報室/グループ経営企画部/グループ総務部/グループ企画戦略部/グループ人事部/その他、各事業会社の皆さん



オンラインでの編集会議の様子

### グループスローガン

## 美しい時代へ——東急グループ

### グループ理念

我々は、グループを共につくり支える志を持ち、  
この理念を共有する。

**存在理念** 美しい生活環境を創造し、調和ある社会と、一人ひとりの幸せを追求する。

**経営理念** 自立と共創により、総合力を高め、信頼され愛されるブランドを確立する。

- ・市場の期待に応え、新たな期待を創造する。
- ・自然環境との融和をめざした経営を行う。
- ・世界を視野に入れ、経営を革新する。
- ・個性を尊重し、人を活かす。

もって、企業の社会的責任を全うする。

**行動理念** 自己の責任を果たし、互いに高めあい、グローバルな意識で自らを革新する。





**東急不動産ホールディングス**



東急不動産ホールディングス株式会社  
コーポレートコミュニケーション部

[www.tokyu-fudosan-hd.co.jp](http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp)